



日本共産党 北区議会議員

# のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> [mail@ken-nonoyama.com](mailto:mail@ken-nonoyama.com)

No.674 2023.3.8

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

## 施設建設(新庁舎)・まちづくり基金に37億円 基金積み増しは必要?

北区議会第1回定例会は3日、本会議を開会し、北区が提出した補正予算を賛成多数で可決しました。

引き続きコロナ禍や物価高騰で区民や中小業者が苦しむ下でも、特別区税が増収となり、財政調整交付金が再算定で増額となるなど、区の財政は堅調な伸びを示しています。

そのため区は、今年度最終となる今回の補正予算で、施設建設基金に新庁舎整備分として27億円、まちづくり基金に10億円の計37億円を新たに積み増す方針を打ち出しました。

これにより今年度末の主要5基金(新年度からは新庁舎整備基金が加わり6基金)の合計は、過去最高の約750億円に



赤羽駅東口で区政報告する、のの山区議

達します。さらに、使いみちが決められておらず、暮らしの応援に活用できる財政調整基金は、年度当初の約138億円にまで減るとの予測を57億円上回り、約195億円まで積み上がることになりました。

新年度予算では、さらに新庁舎整備基金に20億円、まちづくり基金に10億円の30億円を積み増します。日本共産党北区議員団は、財政に余裕があるなら、積み立てではなく暮らしの応援に回すべきとして、補正予算に反対しました。(のの山けん)

日本共産党北区議員団が提案

## 物価高騰対策給付金で暮らし応援を

6日に開かれた予算特別委員会で、総括質疑に立った日本共産党の山崎たい子区議は、北区が積み増している財政調整基金や、まちづくり基金の一部を活用し、非課税世帯及び課税標準額200万円以下の納税者にそれぞれ3万円を支給する、総額約45億円の物価高騰対策給付金を提案しました。区は「現時点において給付金の支給は考えていない」などと答弁しました。(のの山けん)



# 施工者が決定



工場完成予想図(北東方向)

## 2029年度の竣工めざし 今年度から設計・解体工事に着手

東京二十三区清掃一部事務組合は2月28日、北清掃工場建替工事契約における総合評価の結果を、同組合ホームページに公表しました。

工事施工者となったのは、三菱・フジタ特定建設工事共同企業体で、2023年度から実施設計・解体工事に着手、建設工事は24年度末からの予定で、29年度の竣工、試運転をめざします。

解体工事においては、工事概要の中で、「工場棟の一部

を先行解体し、先行解体完了後、残りの工場棟部分を覆い、地上部及び地下部の解体を行う」(下記参照)としており、煙突などを解体した上で、地元住民が要望してきた全覆い仮設置テントを設置し、工場本体の解体が行われる見通しです。住宅密集地に建つ工場であり、周辺には学校や保育園もあることから、解体工事に際しては、徹底した騒音・振動対策を求める必要があります。

3月15日の午後1時30分より、区議会区民生活委員会での清掃一組による北清掃工場建替工事説明会が行われ、さらに詳細な内容が明らかにされる予定です。(のの山けん)

12 解体計画	既存建築物(工場棟、飛灰処理設備棟、煙突、付属施設)を解体・撤去する。工場棟の一部を先行解体し、先行解体完了後、残りの工場棟部分を覆い、地上部及び地下部の解体を行う。
---------	-------------------------------------------------------------------------------------

総合評価の結果とともに示された「北清掃工場建替工事の概要」より

## 志茂地区補助86号線裁判 高裁が原告の訴えを棄却

# 最高裁での判断へ

3日、東京高裁で、特定整備路線補助86号線(志茂地区)の事業認可取り消しを求める控訴審の判決が言い渡され、原告住民の訴えは棄却されました。1審に続き、昭和21年決定当時の資料が存在しないのに、「決定された事実を推認できる」などと国を擁護する判決です。

住民側は直ちに上告の意向を決定。たたかいの舞台は最高裁へと移ります。(のの山けん)

